

杉野 十佐一（すぎの・とさいち）

1、プロフィール

川柳作家。昭和 18 年川柳入門。昭和 26 年蟹田町に「おかじょうき川柳社」創立。川上三太郎の句碑を龍飛岬に建立する等、県柳界の発展に尽力した。

<生没>

1906(明治 39)年 11 月 10 日～1979(昭和 54)年 9 月 4 日

<代表作>

川柳色紙句集『旅鴉』

川柳句集『やませ』

<青森との関わり>

青森市に生まれる。昭和 11 年より蟹田町で薬店経営。

2、作家解説

明治 39 年青森市に生まれる。本名林平。大正 9 年金原商店入社。15 年薬種商、昭和 11 年より蟹田町で薬店経営。蟹田町では、町会議員、教育委員などを務める。

昭和 18 年川柳入門。県内では「津可呂川柳社」代表西谷みさを、中央では「川柳研究」主幹川上三太郎に師事。26 年漆戸風々子、鷺尾鶏助、長内健坊、工藤安亭等と「おかじょうき川柳社」を創立。以後死去するまで代表を務める。

川上三太郎とは師弟を超えて親交が深かった。その交流から昭和 41 年龍飛岬に川上三太郎句碑を建立。全国に多数ある三太郎句碑に類のない規模と景観を誇っている。

県柳界では独特の人的魅力で多くの柳人を育成。各大会の選者を務めるなど、県柳界の重鎮として活躍。作品はユーモアの効いた味のある作風で人気があった。

昭和 54 年 9 月 4 日死去。享年 74。

昭和 55 年5月5日「旅鴉心を空の色にする」の句碑を蟹田町観欄山に建立。

3、資料紹介

○『やませ』

図書

1986(昭和 61)年9月4日

183mm×130mm

川柳句集。著者の遺句集。著者生前の作品から 150 句を収録。著者独特のユニモアあふれる句集である。編集高田寄生木。発行人杉野草兵。

○『旅鴉』

図書

1986(昭和 61)年6月 15 日

183mm×130mm

川柳色紙句集。独特な書体を持つ著者の色紙は多くの柳人に好評であった。その色紙 50 枚を一冊にまとめたユニークな句集である。編集高田寄生木。発行人杉野草兵。